

平成20年度 予算概要特別編

知恵と工夫で「行政のスリム化・効率化」を
新年度予算にみる「町の行政改革」



町では、地方分権の推進、少子高齢化、住民ニーズの高度化・多様化といった社会経済情勢の変化に対応するため、平成18年に「松田町第三次行政改革大綱」を策定し、実施計画（平成18年度～20年度）に基づいた行政改革を進めています。それらを踏まえた平成20年度予算での経費の削減などに対する取り組みをお知らせします。
【問合せ】庶務課 ☎83-1221

推進項目	成果額	○補助金の見直し（各種団体（17団体）補助金19年度予算対比）
○物件費などの削減等	3,048万円	各種団体の補助金は、20年度予算編成時に補助金審査会を開催し、補助対象をより精査したうえで予算に反映し、前年度比3.4%を削減しました。 244万円
		○給与の適正化（一般会計職員人件費影響額） 18年度から職員（常勤特別職を含む）の給与を適正化しました。一般職は、地域手当の支給率を18年度に10%から6%に削減、20年度ではさらに6%から4%に削減しました。管理職手当についても18年度から引き続き、支給額を10%削減しました。特別職は、地域手当を一般職と同様に削減し、期末手当も18年度から5～12%を削減しました。 4,168万円
○滞納整理の強化・手数料の見直し	1,672万円	○繰出金の適正化 西平畑公園事業特別会計が廃止され、1,337万円の繰出金がなくなり、また、制度改革により後期高齢者医療特別会計が新設され、老人保健特別会計から移行したことにより、5,421万円の繰出金が削減されました。 7,797万円
		○指定管理者制度の導入 20年度から松田山ハーブガーデンに指定管理者制度を導入し、経費の削減を図りました。（関連記事7面に掲載） 1,337万円
		計 1億8,266万円

平成20年度予算は、行政改革を踏まえ、通常の事務執行経費のうち、施設の維持管理、消耗品費や印刷製本費等において、不要不急の経費を洗い出すとともに、創意工夫による経費の削減に努めるよう編成しました。その結果左表のような成果を見込んでいます。
また、職員数についても、行政改革の一環である定員適正化計画に基づき、16年度と比較して11人削減していますが、住民サービスが低下しないよう行政運営を行っています。20年度の予算の執行にあたっては、実施計画に基づき、引き続き改革の推進に努めていきます。
※左記表中の成果額については、平成19年度当初予算費目別対比です。

保育に生かす米づくり！

学びの広場

第一幼稚園・園児たちの挑戦！



5月



4月

どれが元気な種かな？
元気なものは塩水に沈むんだって！

昨年4月から第一幼稚園では年長児を中心に全員で米づくりに挑戦し、苗作りから稲刈りまで全部、自分の稲を自分のバケツで育てました。園庭にはバケツの田んぼが広がり、苗には毎日の水やりが欠かせず、暑い日が続くこときつと苗も暑くて、のどが渴いているよ」と話しながら丁寧に育てました。



9月

もうお米になってきたかな？
こんにちはって毎日あいさつしているんだよ！



10月

おいしいお米になったかな？
食べるのが楽しみ！大事に育てた稲を収穫だ！



12月

みんなでおにぎりパーティーだよ。ゆかりおにぎりがいい！私はおかか！おかわりちょうだい！

大きく育つようにお引越しするんだよね。早く大きくなるようにしっかり植えるんだ！

稲と背比べを楽しみ、葉の色が変わり、雀がお米を食べに来ているのを見て「大丈夫かな？」「ちゃんとお米とれるかな？」と心配しました。稲刈りの後、脱穀・もみすり・精米を経て、いよいよ待ちに待ったおにぎりパーティーです。年長児が園庭で育てた大根で作ったお味噌汁も一緒です。
「おにぎりパーティー楽しいな。自分の作ったお米が入っているからね。うまいはずさ！」

“学びの広場”は年3回の発行でした。平成20年度からは“広報まつだ”に毎月掲載されるようになります！

変わります！